



リレートーク #178



テニスと企業活動

橋本 政昭

橋本総業
取締役社長

経済とスポーツの間には関連があると思っています。オリンピックの成績を見ても、国の勢いとメダルの間には関係があるのではないのでしょうか。

国を挙げてオリンピックの開催へ取り組むのも、その国の経済と密接に関係してくるからだと思います。

当社でも今年から実業団のテニスにチャレンジすることに決め、体制を整え始めました。テニス界全体では、有望な選手が出て世界でのポジションが上がり始めていますが、逆に企業ではテニスへの支援をやめている所も多いようです。いろいろな意味で、スポーツに直接お金を出せない理由が増えてきているからだと思います。

当社は流通業なので、人が企業の財産といえます。強いスポーツチームをつくることは、強い会社づくりにつながると思い挑戦することに決めました。

しかし、チームづくりを始めてみるといろいろな問題に突き当たり始めました。

まず「ヒト」の問題です。選手は申し出のあった人とテニスと面接をして、技術はもちろん、人柄が一番だと思って決めました。心技体といいますが、まず心の問題が大切だと思ったからです。

次に「体」のことですが、まず選手がけがをしないで万全の体を維持することを考えました。日々、体を鍛えることと、ゲームでけがをしないということが、いかに大切なことか分かりました。技術は、いいコーチがついて、一緒になって課題を解決することが大切だと思っています。

次は「モノ」の問題です。当社は、テニスコートを持っていないので、練習できる環境をどうつくるかが問題です。できれば室内のテニスコートを常に使えば練習の稼働率も上がるのですが、日本にはなかなかありません。ちなみにマリア・シャラポワの出たアメリカのフロリダにあるIMG^{注)}には57面のコートがあり、トレーニング施設も充実しています。日本との差を実感しました。

最後にカネの問題ですが、選手は試合に出るのにお金がかかります。海外の試合に出ないとポイントが稼げないし、海外に行くにはお金が必要ということで大変です。

テニスの基本も経営の基本と同じ、ヒト・モノ・カネの有効活用と、心の通うチームづくりだと思って取り組んでいます。

注)IMG : International Management Group